

日本共産党 区議会議員



石田 ちひろ

日本共産党品川議会控室 TEL 03-5742-6818
 すずらん通り事務所 TEL 03-5462-2133

2020年4月26日
 ちひろニュースNo.75

コロナのさ中にまた値上げ!?

国保料は引き下げを
 子どもの国保料は無料に

高すぎる国保料
 今年もまた値上げに

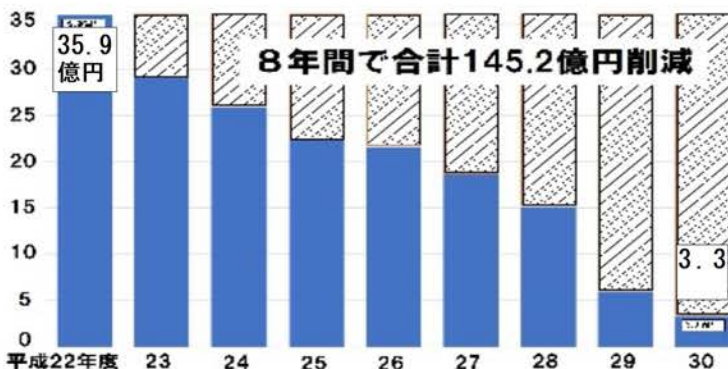
国保に加入する世帯に、今年度の国保料の納付書が届き始めています。

国民皆保険制度の下、定年後や自営業、非正規や失業者など経済的に厳しい人が多く加入しているのが国保です。また他の医療保険と比べて、最も高い保険料なのが国保です。

「このままでは国保制度が破綻する。1兆円の国費を入れ引き下げこそ必要」と全国知事会も提言を出し訴えているにもかかわらず、安倍自公政権は各自治体に国保料引き上げを求めてきました。これまで自治体が国保料引き下げのために繰り入れてきた税金投入をやめる仕組みを作ったのです。そのため、品川区が国保に入れてきた税金は平成

22年度35・9億円から平成30年度には3・3億円に、8年間でなんと1/10以下まで減らしてきました(左グラフ)。そしてその分、国保料を値上げしたのです。共産党は税金投入を平成22年並みに戻せば、1人4万円の引き下げができる」と提案しています。

国保への税金投入の推移



国保料：様々な改悪で11年間で2倍の値上げに

	2009年度		2020年度	
給与収入300万円 40代夫婦子供2人	17万9829円	⇒	37万5498円	2.1倍
給与収入500万円 40代夫婦子供2人	32万8505円	⇒	59万9846円	1.8倍

しかし引き下げどころか、今年も国保料が一人平均年額3172円、介護保険料分が4643円の値上げです。この値上げ条例に反対したのは共産党と生活者ネット。

ト。自民、公明などが賛成しました。

子どもの国保料を無料に

赤ちゃんが生まれたと同時に保険料がかかるのも国保だけ。子ども1人年額5万2800円です。2人子供がいれば10万5600円。大きな負担です。国保加入者の内、子どもは5343人。無料化にかかるお金は2億2000万円です。削減してきた国保への税金のごく一部で可能です。品川区は、子どもの国保料無料化の必要性は認めているのに、「国や東京都に求めている」と言って「区独自にやる考えはない」との答弁を繰り返し、やらない理由をまともに述べることはできません。

なんと！
こんどは滞納者への延滞金徴収8・9%

品川区の滞納者の滞納理由は多い順から、無財産、借入過多、低所得、病気・負傷、事業不振など。多くは貧困で払えない人です。そのため、現在の国保制度ができてから60年間もの長い間、延滞金は取ってきませんでした。それを今回初めて徴収します。延滞金徴収は23区中9区のみ。徴収率が23区でトップの品川区が他区に先駆けて延滞金徴収をなぜ行うのか。8・9%もの延滞金をつけ、罰を与えて払わせるというやり方が自治体のやることか。「なぜ払えないのか、生活実態を丁寧に聞き取り、様々な制度も紹介しながら生活再建の相談に

コロナウイルスによる収入減に国保も早急に対応を

国は、コロナウイルスによる自粛や制限で収入が減り、国税や保険料の支払いが厳しくなっている人に対して、その置かれた状況に配慮して、原則として1年間は納付を猶予するとともに、延滞税・延滞金についても免除・軽減措置を講ずることを自治体に通達しました。区として早急に対応するよう求めました。また経済的打撃を受けている世帯は、コロナが終息しても高すぎる国保料は大きな負担です。引き下げこそ最大の支援です。

乗ることこそ自治体の役割ではないのか。延滞金徴収は止めるべき」と求めました。引き続き国保料の引き下げ、子供の国保料の無料化、延滞金の徴収中止を実現させるため頑張ります。